

バーチャルエクスチェンジを通じた学習者オートノミーの促進

Promoting Learner Autonomy Through Virtual Language Exchange

石貫 文子 (熊本学園大学)

Fumiko Ishinuki (Kumamoto Gakuen University)

英語コミュニケーション能力の向上に欠かせない学習者オートノミーを促進するためには、個人の能力育成だけでなく、学習コンテキストの整備や協働学習のためのシステム設計が重要である。その方法の一つとして、バーチャルエクスチェンジを通じた協働学習が有用である。日本の一般的な EFL コンテキストにおいては、学習者が日常的に英語を使う機会、並びに協働して英語を使用する機会が限られており、学習者オートノミーの育成に大きな課題を持つ。さらに、協働して英語を使用するような場面がある場合でも、英語力に自信がなかったり、コミュニケーション不安を抱えていたりすることで、英語力を高めたいと思う学習者でさえも、他人とのコミュニケーションにおいては消極的な面が見られることが少なくない。そのため、特に協働学習の最初の段階では、オートノミーのレディネスを高めるための教師などのサポートが必要である。そのような背景から、大学のゼミ活動の一環として、オンラインツールを活用し、学習言語である英語と日本語を併用したバーチャルエクスチェンジの実践を、2020年から現在まで約4年間行ってきた。具体的には、日本の大学で英語を学ぶ学生達と、アメリカ、台湾、ベトナムのそれぞれの大学で日本語を学ぶ学生達の間で、オンライン会議システム Zoom を主に利用し、グループごとにプレゼンテーションや自由会話を行うセッションを各学期2~3回(各回1時間)ずつ行った。昨年度はそれに加え、Google Spaces を利用し、自己紹介スレッドを通じた交流も併用した。本発表では、これまで行ったバーチャルエクスチェンジの内容について紹介するとともに、参加学生達の振り返り記述やアンケート結果をもとに、バーチャルエクスチェンジにおける学習者オートノミー促進への効果の検証を行う。さらに、バーチャルエクスチェンジを通じた学習者オートノミー促進に必要な要素について再検討する。

キーワード： バーチャルエクスチェンジ、学習者オートノミー、英語コミュニケーション能力、協働学習